

第六十五回

東西四大学



合唱演奏会



慶應義塾塾歌

作詞：富田 正文 作曲：信時 潔

見よ
風に鳴るわが旗を
新潮寄するあかつきの
嵐の中にはためきて
文化の護りたからかに
貫き樹てし誇りあり
樹てんかな この旗を
強く雄々しく樹てんかな
あゝわが義塾
慶應 慶應 慶應

Doshisha College Song

作詞：W.M.Vories 作曲：Carl Wilhelm

One purpose, Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim;
To train thy sons in heart and hand
To live for God and Native Land.
Dear Alma Mater, sons of thine
Shall be as branches to the vine;
Tho' through the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide!

Still broader than our land of birth,
We've learned the oneness of our Earth;
Still higher than self-love we find
The love and service of mankind.
Dear Alma Mater, sons of thine
Would strive to live the life divine;
That we may with increasing years have stood
For God, for Doshisha, and Brotherhood!

早稲田大学校歌

作詞：相馬 御風 作曲：東儀 鉄笛
編曲：山田 耕筈

都の西北 早稲田の森に
聳ゆる葦は われらが母校
われらが目ごろの 抱負を知るや
進取の精神 学の独立
現世を忘れぬ 久遠の理想
かがやくわれらが 行手を見よや
わせだ わせだ わせだ わせだ
わせだ わせだ わせだ

あれ見よかしの 常磐の森は
心のふるさと われらが母校
集り散じて 人は変れど
仰ぐは同じき 理想の光
いざ声そろへて 空もとどろに
われらが母校の 名をばたたへん
わせだ わせだ わせだ わせだ
わせだ わせだ わせだ

A Song for Kwansei

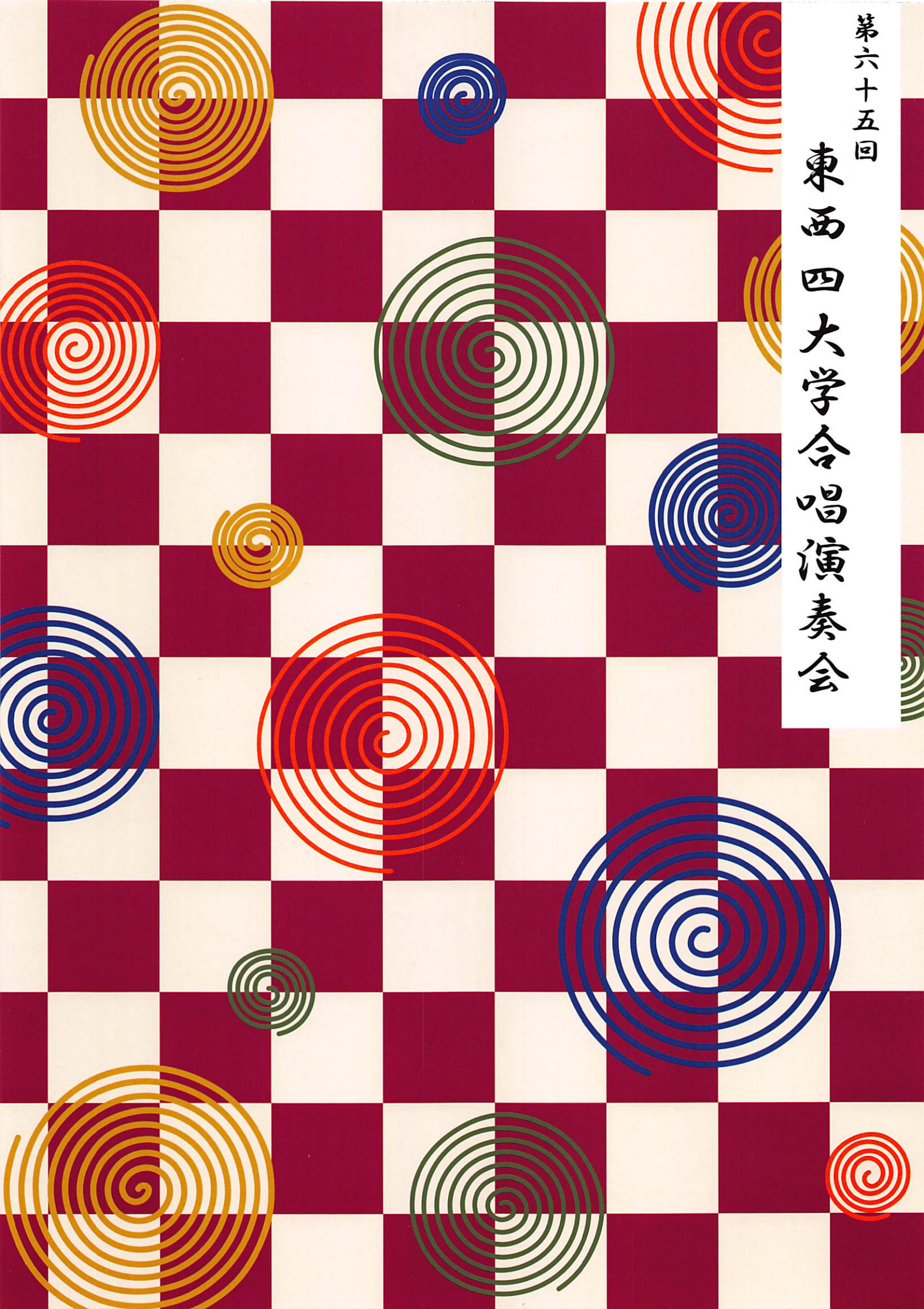
作詞：Edmund Blunden 作曲：山田 耕筈
編曲：林 雄一郎

That we may both receive and give,
May live to learn, and learn to live,
Kwansei, we throng;
To you we throng, not first nor last,
Rejoicing in your fruitful past,
Through seasons clear or overcast
Still true and strong.

For us the present time is grace,
With thankful hearts we take our place,
Kwansei, our own;
And, each and all, will count these hours
Beneath your trees, beneath your towers,
One long succession of kind hours.
The sweetest known.

第六十五回

東西四大学合唱演奏会



ごあいさつ

慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

本日はご多用の中、第 65 回東西四大学合唱演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

爽やかな初夏を迎え、木々の緑も日増しに深くなってきたこの季節に、また今年も四大学が一堂に会して演奏会を開催できますこと、大変嬉しく思います。

昨今では大学合唱そのものが衰退しており、人数の減少に伴い活動を縮小している団体も少なくありません。その中でも伝統を絶やすことなく、母校への誇りと歴史ある団旗を背負い、日頃の練習の成果を競い合う場として「四連」は成長を続けてまいりました。大学合唱界を盛り上げる先駆けとして、さらなる高みへ挑戦する私共の歌声を通じ、男声合唱の新たな魅力が少しでも皆さまに伝われば幸いです。本日は大学生活を音楽にかける男達の演奏を、心行くまでお楽しみください。

末文となりましたが、演奏会を開催するにあたり多大なご指導・ご助力を賜りました諸先生方、諸先輩・関係者の皆さま、そしてご来場いただきました皆さまに深く御礼を申し上げ、挨拶にかえさせていただきます。

第 141 代責任者 飯泉 暁斗

同志社グリークラブ

本日はご来場いただき誠にありがとうございます。東西四連は私にとって、数ある演奏会の中でも、特に思い入れの強い演奏会です。男声合唱と言えば、「迫力」「熱さ」「ハーモニー」に尽きると思います。そして、四連ならではの魅力にはもう一つ、四校がお互い「仲間」であり「良きライバル」であるという点があります。意地とプライドをかけた単独ステージに、四校の総力を結集した合同演奏は、独特な緊張感がありながらも、互いの刺激へととなり、自然と四校の間に一体感をもたらします。四連には、他の演奏会では味わえない面白さや魅力が凝縮されているのです。自団への矜持と他団への敬意を忘れず、迎える 65 回目の四連に臨みたいと思っています。私達同志社グリークラブは「聴衆と一体となった音楽」を胸に今日も歌います。

最後になりますが、先生方、関係者の皆様、四連の担当マネージャー達、そしてご来場いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。今後とも東西四連へのご愛顧のほど、宜しくお願い致します。本日はどうぞ心ゆくまでお楽しみください。

第 112 代幹事長 中川 大治郎

早稲田大学グリークラブ

本日はご多忙の中、第 65 回東西四大学合唱演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。こうして無事に演奏会の日を迎えられましたことを心より感謝しております。

私ども早稲田大学グリークラブが関西で演奏いたしますのは、2 年ぶりでございます。そのため当団の 2 年生と 3 年生におきましては、関東と関西の空気の違いを感じられる初めての機会となります。同じ学生音楽団体という場に所属し、日々を過ごしている仲間との交流は、私ども合唱人に多くの刺激を与えるものです。時代の流れとともに変わりゆくものが多いこの時代において、今もこうして「四連」が続いておりますのも、各大学が自分たちの個性をぶつけ合い、より良いステージを創るために不断の努力を重ねてきたからでしょう。そのようにして成長し続けてきた私どもの音楽をホールに響かせ、皆様の心を震わせることが出来たら幸いです。

末筆となりましたが、本日の演奏会を公演するにあたり多大なるご指導、ご尽力を賜りました諸先生方、関係者の皆様、そしてご来場頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。

第 109 代部長 新井 晴晶

関西学院グリークラブ

本日はご多忙の中、第 65 回東西四大学合唱演奏会にご来場賜りまして、誠にありがとうございます。東西の名門男声合唱団が一同に揃い、この伝統的な演奏会が、私達関西学院グリークラブの地元兵庫県で行われることを光栄に思います。

この演奏会にける私の思いは「絆」です。四大学が練りに練り込んだ歌声を披露するまでの練習時間、演奏会の何か月前からの運営、そして客席から我々に届く温かい拍手と笑顔、この全てに人の絆を実感いたします。この四連という空間には、なにか心を惹きつけてやまない愛があると自信を持って言えます。関西学院グリークラブのモットーとして「メンタルハーモニー」がありますように、音楽として目指すべき境地は、譜面の世界の美しさだけではなく、それを包み込む人の精神調和の美しさではないかと思います。

四大学が互いに切磋琢磨しあいながらも磨き上げた男声合唱の世界をどうぞ心ゆくまでお楽しみください。この演奏会に関わってくださいました皆様に心より感謝を込めて歌います。

第 117 代部長 新関 祥崇

I 慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団
男声合唱とピアノのための
「ジプシーの歌 作品 55」

作詩 Adolf Heyduk
作曲 Antonín Dvořák
編曲 福永 陽一郎
指揮 佐藤 正浩
ピアノ 前田 勝則



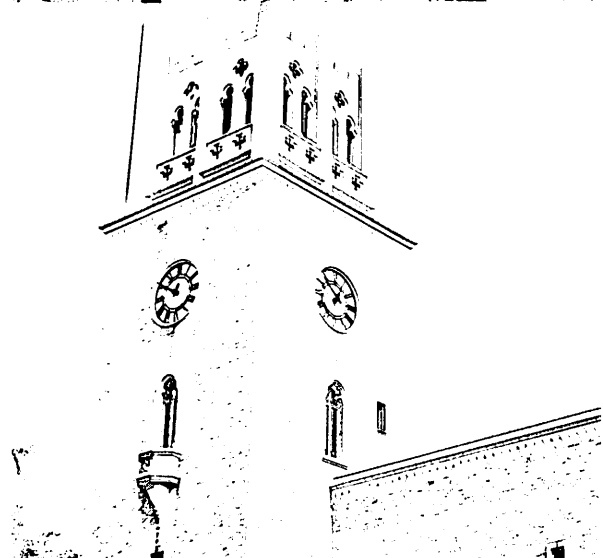
II 同志社グリークラブ
男声合唱とピアノのための
「三つの時刻・路標のうた」

作曲 三善 晃
指揮 伊東 恵司
ピアノ 萩原 吉樹



III 早稲田大学グリークラブ
男声合唱とピアノのための組曲
「ハレー彗星独白」

作詩 大岡 信
作曲 鈴木 輝昭
指揮 藤井 宏樹
ピアノ 鈴木 あずさ



IV 関西学院グリークラブ
現代作曲家による宗教曲集
指揮 広瀬 康夫



V 合同ステージ
A Beatles Celebration
指揮 広瀬 康夫

男声合唱とピアノのための「ジプシーの歌 作品 55」

作詩 Adolf Heyduk

作曲 Antonín Dvořák

編曲 福永 陽一郎

指揮 佐藤 正浩

ピアノ 前田 勝則

■ ヨーロッパ音楽と「ジプシー」

「ジプシー」とは何であろうか。ある集団を示す呼称でもあり、放浪者ないし放浪することの意味でも使われる。一つ明言できるのは、現在ある民族を指す際に「ジプシー」という呼称は用いないということだ。近年旧グルジアの呼称が「ジョージア」に改められたことは記憶に新しいが、民族の呼称はその人々の尊厳にもかかわるデリケートな問題である。現在は彼らの言葉で「人間」を意味する「ロマ」が用いられる（この項では、便宜上一部「ジプシー」を用いることをお許し願いたい）。

「ジプシー」という呼称は外名であり、「ロマ＝エジプト人」という誤解に由来している。実際はインドの西北にルーツを持つ彼らは、さまざまに分岐しつつ15世紀にはヨーロッパ各地へやってきた。浅黒い肌など外見的特徴もヨーロッパ人と異なるロマは、常に流浪を余儀なくされ、迫害や同化政策の対象となった。その最も悲惨な例の一つが、ナチスによるポライモス（絶滅政策）である。だが、気ままで奔放なロマのあり方は多くのヨーロッパ人にとって憧れの対象でもあった。チェコの作曲家アントニン・ドヴォルザーク（1841-1904）がこの7曲からなる歌曲集「ジプシーの歌」を書いたのは1880年だが、親交深かったドイツのヨハネス・ブラームス（1833-1897）も7年後に同じく「ジプシーの歌」（„Zigeunerlieder“）を書いている。壮年期のドヴォルザークとブラームスはともに民俗色豊かな舞曲集を書いて成功したが、円熟期に書かれた2つの「ジプシーの歌」にも共通点がみられる。ジプシー音楽の特徴として、ヴァイオリンやツィンバロム（ハンガリーの大型弦楽器）を用いた独特の物憂げな旋律、緩急烈しいテンポや音量などが挙げられる。ドヴォルザークやブラームスは、いずれもこういった音楽的な個性をドイツ・オーストリア音楽の書法と融合させ、より普遍的な魅力を持つ作品へ昇華させた。その巧みな取り入れ方はエキゾチズムを超えたジプシー音楽への深い理解を感じさせ、音楽的な普遍性を持つに至っている。2作品の違いとしては、ドイツ的な構成感を持つブラームスに対し、ドヴォルザークはより奔放で舞曲的であり、ボヘミアの薫りが豊かに感じられる。

■ 楽曲解説

ドヴォルザークの「ジプシーの歌」は、アドルフ・ハイドゥーク（1835-1923）による抒情詩を歌詞とし、ハイドゥーク自らチェコ語からドイツ語に訳した詩が用いられている。当時チェコはオーストリア＝ハンガリーの支配下にあり、ドイツ語の方が広く受け入れられるとされた。また、出版社ジムロックの依頼も「ドイツ語歌曲集を」というものであった（なお第2版ではチェコ語詞も書かれている）。

第1曲「わが歌ひびけ」では狂おしい前奏に続き、スケール豊かで劇的な詩世界が描かれる。第2曲「きけよトライアングル」は題のとおりトライアングルの響きを模した軽快な曲調で、ピアノ・歌ともにスタッカートが多用される。第3曲「森はしずかに」ではピアノの右手から左手の滑らかな下降音型が持続し、その上に展開されるドイツ風の感傷が心を打つ。第4曲「わが母の教えたまいし歌」はドヴォルザークの歌曲中でもとりわけ名高く、8分の6拍子のピアノと4分の2拍子の歌が絶妙なずれの効果を生み、3分足らずの曲ながら強い感銘をもたらす。第5曲「弦を整えて」は「スラヴ舞曲」を思わせる痛快なテンポ変化が目覚しく、終局の加速が効果的だ。第6曲「軽い着物」は明快でユーモラス、ジプシーの自由を歌う。第7曲「鷹は自由に」では絶妙なテンポ変化を経て、ピアノと歌が一体となり駆け上がり曲を閉じる。

Mein Lied ertönt / わが歌ひびけ

Mein Lied ertönt,
Ein Liebespsalm,
Beginnt der Tag zu sinken;
Und wenn das Moos,
Der welke Halm
Tauperlen heimlich trinken.

Mein Lied ertönt,
Voll Wanderlust,
In grünen Waldeshallen,
Und auf der Pussta weitem Plan
Lass' frohen Sang ich schallen.

Mein Lied ertönt,
Voll Liebe auch,
Wenn Haide stürme toben;
Wenn sich zum letzten Lebenshauch
Des Bruders Brust gehoben.

Ei, wie mein Triangel / きけよトライアングル

Ei! Ei, wie mein Triangel
Wunder herrlich läutet!
Leicht bei solchen Klängen
In den Tod man schreitet!

In den Tod man schreitet
Beim Triangelschallen!
Lieder, Reigen, Liebe,
Lebewohl dem Allen!

Rings ist der Wald / 森はしずかに

Rings ist der Wald so stumm und still,
Das Herz schlägt mir so bange.
Der schwarze Rauch sinkt tiefer stets
Und trocknet meine Wange.

Ei, meine Tränen trocknen nicht.
Musst andre Wangen suchen!
Wer nur den Schmerz besingen kann,
Wird nicht dem Tode fluchen.

Als die alte Mutter / わが母の教えたまいし歌

Als die alte Mutter
Mich noch lehrte singen,
Tränen in den Wimpern
Gar so oft ihr hingen.

Jetzt wo ich Kleinen
Selber üb' im Sange,
Riesel's in den Bart oft.
Von der braunen Wange!

Reingestimmt die Saiten / 弦を整えて

Reingestimmt die Saiten,
Bursche, tanz' im Kreise!
Heute froh,
Und morgen?
Trüb nach alter Weise!

Nächster Tag' am Nile,
An der Väter Tische
Reingestimmt,
Reingestimmt die Saiten,
In den Tanz, Dich mische!
Reingestimmt die Saiten!
Bursche, tanz' im Kreise!

In dem weiten, breiten, luft'gen Leinenkleide / 軽い着物

In dem weiten, breiten,
Luft'gen Leinenkleide freier der Zigeuner
Als in Gold und Seide,
Freier der Zigeuner!

Jaj! der gold'ne Dolman
Schnürt die Brust so enge,
Hemmt des freien Liedes
Wanderfrohe Klänge;

Und wer Freude findet an
Der Lieder Schallen,
Lässt das Gold, das Schnöde
In die Hölle fallen!

Darf des Falken Schwinge / 鷹は自由に

Darf des Falken Schwinge
Tatrahöh'n umrauschen,
Wird das Felsenest
Er mit dem Käfig tauschen?

Kann das wilde Fihlen
Jagen durch die Haide,
Wird's am Zaum
Und Zügel finden keine Freude?

Hat Natur, Zigeuner,
Etwas dir gegeben?
Jaj! zur Freiheit schuf sie mir das ganze,
Das ganze Leben!

男声合唱とピアノのための「三つの時刻・路標のうた」

作曲 三善 晃

指揮 伊東 恵司

ピアノ 萩原 吉樹

■ 作曲者について

三善晃 (1933~2013)

東京府東京市杉並区阿佐谷（現：東京都杉並区）に生まれ、幼少より、自由学園においてピアノ演奏法、音楽基礎を学んだ。小学校に上がる頃より高校まで、ヴァイオリン演奏法と作曲を平井康三郎、後には池内友次郎に師事した。1960年に東大仏文科を卒業し、1963年から東京藝術大学講師、1966年より桐朋学園大学教授をつとめた。壮年期からは合唱に力を入れ、「二台ピアノと合唱のための」作品に秀作を残している。2000年代からは作品の殆どがピアノと合唱であった。

日本作曲界の重鎮として日本をはじめ、世界中の作曲家や音楽界に大きな影響を与えた。合唱曲に関しては、「三善以前」、「三善以降」と言われるほど、彼を前後に書法が大きく変わっており、日本の作曲家に多大な影響を与えた事が窺い知れる。2013年10月に惜しまれつつこの世を去った。

■ 楽曲解説

『三つの時刻』

三善晃にとって初めての男声合唱曲である。

この曲集に収録されている曲の歌詞は、全て作詩者、丸山薫の詩集『一日集』に収録されているものである。一日集（版画社 1936年）の朝暎章に「薔薇よ」、夕映章に「午後」、忌日章に「松よ」の詩が綴られている。「朝暎章」朝暎は朝日、詩人の境涯に夜明けのほのぼのとした光が射しそめた意である。

「夕映章」夕映の哀愁を彼一流の心象において歌ったものである。

「忌日章」の作品は、1936年3月29日に死去した義妹の都枝の死を悼んだものである。

一曲一曲は非常に短い、丸山薫の詩の世界をととても精巧に表現している。三善晃によって巧みに作り上げられた、この異なる色をもつ三編の詩の世界を是非お楽しみ頂きたい。

『路標のうた』

作曲者である三善晃の「木島始の詩で音楽が書きたい」というかねてからの願いが叶い、出来た曲である。

この曲はテノール、バリトン、ベースの三声×二群の計六パートからなる曲であり、多声部の掛け合いがとても印象的である。今回、私達はこの多声部の大曲を40人にも満たないメンバーで演奏する。

作詩者の木島始は自身の詩に対して

「この『うた』での路標は、かたちのない、というか、かたちをこえたミチシルベ、各人ひとりひとりの、また、ひと対ひとの、また、それぞれの人の集まりのミチシルベ、つまるところ、掴まりそうでなかなか掴まえどころのない、こころのミチシルベで、どういうミチシルベを心に浮べるかは、各人の自由というわけだ。」

と話している。私達の演奏を通して、各人のミチシルベを見つけて頂けたら幸いである。

『三つの時刻』

作詩 丸山 薫

I
薔薇よ

薔薇よ

汝を棘で刺せ

みつからの頬を破り

その血を嚙んで 白く輝け

たとへ曙の一刻なりとも

むしろ ああ かかる世では

II
午後

鴉たちは駆け抜ける

曇り日の都會の午後の

時刻のあわただしき屋根の上を

汽笛の高鳴つてゐる河の空を

彼らの発音はたちまち宙に縋れて

伸びちぢみするうしろ姿が

しばらく わが郷愁の遠眼鏡に浮んで見える

一羽が煙つた聲で話しかける

一羽の返事はもう聴えない

III
松よ

松よ 枝がぐれのオルガンを弾け

梢よ 風のフリユウトを吹け

日よ こぼれ葉と松毬をふらせ

僕は墓の石を掃かう

『路標のうた』

作詩 木島 始

遠くはるばるきた人の目は

わが身のゆがみ 映す鏡

遠くはるばるきた人は

身内にはない 鈴を鳴らす

思いおもいに散らばりながら

いま同じ解けない謎と 向いあう

なぜ なぜこうも歌いたくなるのだろう

この謎は つややかな誇らしい果物だ

声だす誰もが親しくなれる

音色の生みの親は 誰なのだ？

おうい まだよそよそしいのか 誰と誰がだ？

くつろいで悪口も 言いあえないのか？

行きつづまり 坐りこみ 倒れ伏すそのとき

歌から何か 道しるべがにじみでてくるか？

寝たきりのときには 歩く夢 駈けだす夢

匍いずりまわるときには 踊る夢 飛び立つ夢

人がみな 見えない鎖でつながれるのなら

新しい友よ 誰よりもきみがいい この夢

曲りくねる回り道で とまどい分ちあいながら

とほうもない出逢いを待つ 宇宙すべて通り道……

男声合唱とピアノのための組曲「ハレー彗星独白」

作詩 大岡 信

作曲 鈴木 輝昭

指揮 藤井 宏樹

ピアノ 鈴木 あずさ

■ 演奏会に寄せて～作曲者コメント～

第 65 回 東西四大学合同演奏会において、早稲田大学グリークラブによって《ハレー彗星独白》が演奏されます事を大変嬉しく思います。

我国の創作音楽芸術の中で、合唱分野における邦人作品への積極的なアプローチには瞠目すべきものがあります。

母国語による、母国語の律動を伴った音楽。そこから発信されるべき日本人の音楽的アイデンティティーは、まだまだ確立しているとは言えません。しかしながらそれは、問題意識を持って書かれることにより、本質的価値を見据えて繰り返し歌われることによってしか成長する事はできません。

90 年代の終わり頃、この国に生まれた作曲家の一人として何かを思い、何かを実現しようとして突き進んだ初めての男声合唱組曲作品が《ハレー彗星独白》です。約 20 年の歳月を経て、委嘱団体の遺伝子を受け継ぐ早稲田グリーのものふ達、そして藤井宏樹、鈴木あずさ両鬼才の客演によって、ハレーが新たに生まれ出ずる事に、大きな感慨と期待と強い意義を覚えます。歌うもの、振るもの、弾くもの三者ががっぷり四つに組む、妥協のないスケールの大きな立体的音宇宙を構築してほしいと願います。

2016 年 6 月 26 日 鈴木輝昭

■ 楽曲解説

《ハレー彗星独白》は、早稲田大学グリークラブの委嘱により作曲 1997 年 11 月、同グリークラブ第 45 回定期演奏会において初演された。テキストは、大岡信詩集「地上楽園の午後」（花神社）の中に収められている四篇の詩によって構成した。

男声合唱という対象に想いを巡らしたとき、私は、抒情に流されない、硬質で明晰な言葉を求めた。大岡信氏のことばは、象徴性を強く帯びた一連の比喩として心に鋭く突き刺さってくるもので、毒を含んだ華麗な展開の中に本能的で原始的な魂の叫びがある。そして太古から未来へと時空を貫いて流れる謎めいたロマン、宇宙的なファンタジーが描き出されている。

ことばはリズムである。この作品では、日本語の持つリズム（呼吸）、音（おん）としての特徴を、あくまで音楽素材の一部とする意識的な試みをした。言葉と音との緊密でスリリングな関係が音像と持続を形成し、その背後からうたが立ち昇る。特に「弥生人よ きみらはどうして」と「ハレー彗星独白」では、次々とたたみかける子音のリズミカルな表出が要求され、さらにピアノと合唱のポリフォニックな共奏によって織りなされる時間の連続性が構造を支配する。「竹林孵卵」は、空間に放たれた伸縮する音に同化していくプロセスであり、人間も宇宙も時代の波も、全てを飲み尽くした果の生命の浄化。一遍のバラードとして「ララバイ」は歌われる。リズム—生命現象、宇宙的共振…大岡信氏が或る散文の中で綴っていた言葉を思い出す。

弥生人よ きみらはどうして

宇宙の歴史が大爆発（ビッグバン）で
始まったのなら
ヒトの中には
まばゆい光が埋め込まれてゐる
光はヒトの内から発して
かれの道を未来へ照らす

弥生人よ 光を内から放射しながら
米と鉄器をたづさへてきた きみら
玄界灘も 江南も 大草原も
きみらによつて結ばれる ほくらの今へ

九州にも 東北にも
畿内にも 関東にも
弥生文化のあるところ
濠めぐらした集落があり ムラがあつた

濠は二重のものもあつた
土塁が内と外を固めた
高さ 時に十メートルにも達する城壁
望楼は望楼で 念入りだつた

三日月は 神の引く弓
流星は 流れる神の矢
たなびく雲は 五色の神の首飾り
（卑弥呼ははたして一人だつた？）

女の腹にも 日の照る田にも
繁殖の種はだいに播かれ
集落は命をかけてそれを守つた
光を今日も埋めに行け 愛人の腹へ

鉄器は強いが 腐食する
土器は脆いが 腐らない
男は時に鉄器であり 時に土器だ
女は時に土器であり 時に鉄器だ

ものごとの終りの姿は
おほよそのところ はつきり見える
哀しい終りも多いが
さつぱりとして嬉しい終りかたもある

弥生人よ そしてきみらは どうやつて
ニホンゴとほくらが呼んでる凄惨な道具を
縄文人から受け渡された？
あの謎の 始まりの謎の 縄文人から？

竹林孵卵

陽春の竹の林で
竹宇宙が
膨張してゐる

地下から
天へ
無数のくだを蹴あがる液の
このすさまじいざわめき
関節は悲鳴をあげて
身を持ち崩し 喜喜として
細胞を産み出しつづける

そのさなかにも
よそからみれば また何といふ
優雅な若葉の身のこなしだらう

幹一本に寄り添つて立ち
濃みどりの皮下に泡立つ滝の響きに
耳を澄まそう

にんげんよ
おまへの視覚 聴覚を
誇るな ここでは

寸秒の停滞もなしに
地下を走つて伸びてゆく根に
おまへの間の眼差しを学べ

地べたに寝そべり
地上にときどき背中をみせてる
逞しい竹の根っこを撫でつつ眠れ

そのさなかにも
陽光はまた何といふ
柔らかな影となつて

そり返り波うつ思想の孵卵器なる
かの太いなる竹の林を
一人一人の魂の産室の中に

知らん顔して
そよがせて
ゐることだらう

バレー彗星独白

おれがあのかちな星に
近づく時のお祭り騒ぎはどうだ

それに引き替へ
おれが見えなくなったあとの
連中の忘れつぷりのみごとさと来たら

七十六年ぶりの彗星接近
だつて？
笑はせるぜ
おれは接近なんざしちやみない

機嫌よくおれが滑つてゆく通路に
ときどきふらふら近寄つてくる
あの目障りな落ちこぼれの星

あの小うるさい住人どもの
言つたりしだりすることと来たら
エゴイストらめ

お祭り騒ぎがすめば忽ち
何でも彼でも書きこんである
年表とかいふ雑な過去帳に
文字一行でこのおれを整理しくさる

やつらだけに通用する
時間とかいふ範疇の中で
おれは過ぎた事件として
片づけられてゐるらしい

やつらはおれがどこへ去つたか
知つてゐないのか たしかに
やつらは知つちやあみないのだ

おれが住んでる所では
何事にもあれ何ひとつ
過ぎ去ることは決してない

おれはいつも
やつらにとつては不安に満ちた
未来といふ空間から
やつらの前に
ときどき姿を顕はしてゐるに
すぎないのだ

この次は軌道をずらし
ぬーッと 突然
目の前に
大接近してくれようか

ララバイ

お眠り こひびと
宇宙のいとしい片隅の
迷子よ
お眠り
いのちを星の
腕にあづけて

きみの生きてる春は
微かに揺れて
どもりながら綴つてゐる
ぼくのけつして聞かないだらう
きみのけつして知らないだらう
幸福な文字を

お眠り こひびと
宇宙のいとしい片隅の
迷子よ
お眠り
お眠り

詩集「地上楽園の午後」より

現代作曲家による宗教曲集

指揮 広瀬 康夫

■ 楽曲解説

Nearer My God To Thee

賛美歌の一つ。原曲は元々民謡として以前より存在していたとも言われており、詩は旧約聖書・創世記 28 章 11 節・12 節を基に、19 世紀に英国のサラ・アダムスによって作詩された。現在知られている旋律は米国のローウェル・メイスンによって書き起こされたもの。今回演奏するのはジェームズ・スティーヴンスによって Barbershop アレンジが為されたものである。

Lux Aurumque: 「黄金の光」

歌詞は、Edward Esch が書き下ろした英語の詩を Charles Anthony Silvestri がラテン語に翻訳したもの。作曲者のエリック・ウィテカーは、アメリカ合衆国ネバダ州の出身、7 度や 9 度の和声を駆使したスタイルの作品は、いまや世界中の合唱人が注目する存在となっている。最近では、インターネットを駆使した Virtual Choir Project でも話題を攫った。

エリック・ウィテカー (Eric Whitacre, 1970 年 1 月 2 日 -)

アメリカ合衆国の作曲家、指揮者。ネバダ大学ラスベガス校にて学士、ジュリアード音楽院にて修士を取得。合唱曲と吹奏楽曲が知られている。大変パート分割が細かく、曲によっては 16 パートを超える分割をすることもある。結果として密集和音は調性的なクラスターに近くなる。

Psaume 121

詩編とは、旧約聖書に編纂されている一連の宗教的な詩歌集で、昔は讃美歌のように扱われてきた。古来より多くの作曲家がこの詩編のテキストに曲をつけてきた。この 121 編は素朴な巡礼の祈りを単なる素朴さに終わらせない厳しさを持っている。それは祈りという行為が本来もっている誠実さと、厳しさを、より深く追求している。ミヨー 29 歳の作品。1921 年、初めて海外遠征でフランスを訪れたハーバードグリークラブのために書かれた。

ダリウス・ミヨー (Darius Milhaud, 1892 年 9 月 4 日 - 1974 年 6 月 22 日)

フランスの作曲家。ピアニストや指揮者としても活躍し、自作の録音を残している。フランス 6 人組の一人。

Ave Maria (Angelus Domini) 御告げの祈り

聖母マリアへの受胎告知を祝して感謝するローマ・カトリック教会の祈祷を題材としている。祈祷は朝、昼、夕の 3 回、Angelus Domini (主のみ使い) の句で始まり、お告げの祈りの時刻を知らせる鐘をお告げの鐘という。オリジナルの Ave Maria のテキストに、ビーブルによって福音史家的に単旋律の挿入を施されている。

フランツ・ビーブル (Franz Biebl, 1906 - 2001)

ドイツの作曲家。作品のほとんどは合唱のための作品となっている。Ave Maria はビーブルがミュンヘンの近くの街の教会で働いていた時に、地元の消防団の合唱団のために 1964 年に作曲したものである。

Nearer My God To Thee

I N ARTICULO MORTIS
CAELITUS MIHI VIRES
DEO ADIUVANTE NON TIMENDUM
IN PERPETUUM
DIRIGE NOS DOMINE
AD AUGUSTA PER ANGUSTA
SIC ITUR AD ASTRA
EXCELSIOR

At the moment of death
My strength is from heaven
God helping, nothing should be feared
Forever
Direct us, O Lord
To high places by narrow roads
Such is the path to the stars
Ever upward

Nearer, my God, to Thee, Nearer to Thee
E'en though it be a cross That raiseth me
Still all my song shall be
Nearer, my God, to Thee
Nearer, my God, to Thee, Nearer to Thee
わが神よあなたのおそばに、あなたのおそばに。
たとえ、それは自らを高く上げる十字架であろうとも
なおのこと、わが歌のすべては必ずや
「わが神よあなたのおそばに、
わが神よあなたのおそばに、あなたのおそばに。」となるだろう。

Though like the wanderer, The sun gone to dwn
Darkness be over me, My rest a stone
Yet in my dreams I'd be
Nearer, my God, to Thee
Nearer, my God, to Thee, Nearer to Thee
さすらい人のもようであつて、闇が暮れて、
暗闇がわが上にあつても、わが休息は一つの石である。
わが夢のなかでさえ、私は
「わが神よあなたのおそばに、
わが神よあなたのおそばに、あなたのおそばに。」とありたいと思う。

There let the way appear, Steps unto heaven
All that thou sendest me, In mercy given
Angels to beckon me
Nearer, my God, to Thee
Nearer, my God, to Thee, Nearer to Thee
そこにその道が現れた、天国への階段
あなたがわれに送られたものは、懐れみの中で与えられた。
天使達がわれを
「わが神よあなたのおそばに、
わが神よあなたのおそばに、あなたのおそばに。」へと招く。

Then with my waking thoughts Bright with Thy praise
Out that Thou stony griefs Bethel I'll raise So by my woes to be
Nearer, my God, to Thee
Nearer, my God, to Thee, Nearer to Thee
目覚めた思いと、あなたの賛美により輝く、
わが石のごとき嘆きのゆえに、われはベテルを高く上げる。
それゆえ、わが苦しみにより、われは
「わが神よあなたのおそばに、
わが神よあなたのおそばに、あなたのおそばに。」となるものである。

Or if on joyful wing, cleaving the sky
Sun, moon, and stars forget, Upward I fly, Still all my song shall be
Nearer, my God, to Thee
Nearer, my God, to Thee, Nearer to Thee
すなわち喜びの翼の上で、われは空を切り裂く。
太陽、月、そして、星々を忘れ、空高くわれは舞い上がる。
なおいつそう、わが歌のすべては、
「わが神よあなたのおそばに、
わが神よあなたのおそばに、あなたのおそばに。」になるだろう。

Lux Aurumque

Lux,
Calida gravisque
pura velut aurum
et canunt angeli
mollior modo natum.

Light,
warm and heavy
as pure gold,
and the angels sing softly
to the newborn babe.
光。
純金のように暖かくそして重たい。
新しく生まれた赤子のために
天使たちはやさしく歌う。

Latin Translation ©2001 by Charles Anthony Silvestri
(English poem by Edward Esch)

Psaume 121

Je me suis fondu de joie
En ces choses qui m'ont été dites :
Nous irons dans la maison du Seigneur
人々がわたしにむかって「われらは主の家に行こう」と言ったとき、
わたしは喜んだ。

nos pieds se sont trop attardés en ces lieux qui te précèdent Jérusalem
エルサレムよ、われらの足はあなたの門のうちに立っている。

Jérusalem qui est édifée comme une ville
dont la participation est en elle-même
しげくつらなつた町のように建てられているエルサレムよ、

c'est là que sont montées lest tribus en triomphe
les tribus du Seigneur ont monté
Célébration qui est Israël
pour rendre témoignage au Seigneur.
もろもろの部族すなわち主の部族が、そこによって来て主のみに
感謝することは、イスラエルのおきてである。

Là ces trônes en une grande assise
au dessus de la demeure de David.
そこにさばきの座、ダビデの家の王座が設けられてあつた。

Que votre prière soit la paix
qu'il y a dans Jérusalem !
Et l'abondance à ceux qui l'aiment !
エルサレムのために平安を祈れ、
「エルサレムを愛する者は栄え、

Que la paix soit dans ta vertu
et l'abondance dans la couronne de tes tours.
その城壁のうちに平安があり、
もろもろの殿のうちに安全があるように」と。

A cause de tes frères et de tous ceux qui m'approchent
je parlais de toi, pacifique.
わが兄弟および友のために、
わたしは「エルサレムのうちに平安があるように」と言い、

A cause de la demeure du Seigneur votre Dieu
j'ai cherché le bonheur en Toi.
われらの神、主の家のために、
わたしはエルサレムのさいわいを求めるであらう。

Ave Maria(Angelus Domini)

Angelus Domini nuntiavit Mariae
Et concepit de Spiritu Sancto
Ave Maria, gratia plena, Dominus tecum, benedicta tu in mulieribus,
Et benedictus fructus ventris tui Jesus.
Sancta Maria, Mater Dei, ora pro nobis peccatoribus
nunc et in hora mortis nostrae, Amen.
主のみ使いのお告げがあつて、
マリヤは聖霊によって懐胎された。
アヴェ マリア、恩恵に満ちたあなたと共に主がおられ、
あなたは女性の中で最も賛美され、
ご胎内の子イエスも賛美されますように。
神の母、聖マリヤ、わたしたち罪人のために、
今も臨終のときも祈ってください。

Ecce Ancilla Domini,
Fiat mihi secundum verbum tuum.
Ave Maria, gratia plena, Dominus tecum, benedicta tu in mulieribus,
Et benedictus fructus ventris tui Jesus.
Sancta Maria, Mater Dei, ora pro nobis peccatoribus
nunc et in hora mortis nostrae, Amen.
わたしは主のはしめです。
おことばとおり、この身になりますように。
アヴェ マリア、恩恵に満ちたあなたと共に主がおられ、
あなたは女性の中で最も賛美され、
ご胎内の子イエスも賛美されますように。
神の母、聖マリヤ、わたしたち罪人のために、
今も臨終のときも祈ってください。

Ei Verbum caro factum est,
Et habitavit in nobis.
Ave Maria, gratia plena, Dominus tecum, benedicta tu in mulieribus,
Et benedictus fructus ventris tui Jesus.
Sancta Maria, Mater Dei, ora pro nobis peccatoribus
nunc et in hora mortis nostrae, Amen.
みことばは肉となり、
わたしたちの中にお住まいになった。
アヴェ マリア、恩恵に満ちたあなたと共に主がおられ、
あなたは女性の中で最も賛美され、
ご胎内の子イエスも賛美されますように。
神の母、聖マリヤ、わたしたち罪人のために、
今も臨終のときも祈ってください。

Ora pro nobis, santa Dei Genitrix,
Ut digni efficiamur promissionibus Christi.
Oremus, Gratiam Tuam, quaesumus, Domine, mentibus nostris infunde :
Ut qui, Angelo nuntiante, Christi Fili Tui incarnationem cognovimus,
per passionem eius et crucem, ad resurrectionis gloriam parducamur,
Per Christum Dominum nostrum. Amen.
神の聖なる母、わたしたちのために祈ってください。
キリストの御約束にわたしたちをふさわしいものとしてください。
祈りましょう。主よ、み使のお告げによって、
あなたの子キリストの受肉を知らせていただいたわたしたちが、
その受難と十字架の死によって、
復活の栄光にまで到達できるように、あなたの恩恵をわたしたちの心に注いでください。
わたしたちの主キリストによって。アーメン。

A Beatles Celebration

指揮 広瀬 康夫

■ Beatles History

ビートルズは1962年、イギリスの港町リヴァプールで誕生した。メンバーはジョン・レノン(リズム・ギター)、ポール・マッカートニー(ベース)、ジョージ・ハリスン(リード・ギター)、リンゴ・スター(ドラム)。活動期間中に公式発表された210曲のうち、オリジナル作品の圧倒的な数をジョンとポールが作曲。中期以降はジョージもソングライターとして活躍した。

アマチュア時代からライブ・バンドとして腕を磨いてきたビートルズは、デビュー後も精力的なライブ活動でファンを増やしていった。1963年までにはイギリス中が熱狂。会場の内外ではファンがヒステリックに金切り声をあげる現象が起り、その熱狂ぶりを表す「ビートルズマニア」という言葉まで生まれた。そして彼らの主演映画「A Hard Day's Night」が各国で公開されると、人気に拍車がかかり、ついに世界をも制覇した。

爆発的人気を誇る一方で、この頃ビートルズは、ライブ活動に疑問を持つようになっていった。ファンはビートルズの虚像だけを求めてただ絶叫するばかり。音楽を聴こうともしなかった。1965年に作られた『Help!』はこうした矛盾に悩み苦しんでいたメンバーの潜在的な心の叫びでもあった。そして1966年8月29日のサンフランシスコ公演を最後に、二度と観客の前に立つことは無かった。

一方で、レコーディングの面白さを見出したビートルズはツアー活動と並行させながら、『Rubber Soul』(1965年)と『Revolver』(1966年)という脱アイドルのアルバムを製作していた。ライブ活動を完全に停止してからはレコーディングに専念。4人はパーカッションやインド楽器、オーケストラなどあらゆる楽器、手段を用い、思い通りのレコード作りを行った。その結果、ひとつのコンセプトに基づいた革新的なアルバム『Sgt. Pepper's Lonely Hearts Club Band』(1967年)が誕生した。1967年には世界初の宇宙中継番組に出演し、レコーディング風景を披露。演奏したのは「All You Need Is Love」。歌を通して世界に愛のメッセージを伝えた。

1967年8月27日、マネージャーのブライアン・エプスタインが死去。この頃からグループとしてのバランスが微妙に崩れ始める。以前からインド音楽や思想に興味を持っていたジョージは、瞑想の世界へと傾倒していく。ジョンは新しいパートナーであるオノ・ヨーコとの活動に開眼、アート展や平和運動などに活動範囲を広げていく。リンゴは映画俳優として新たな道を切り開く。ポールは新人アーティストの育成に熱心に取り組んでいく。こうして4人の音楽的方向性の違いは顕著となり、1968年のアルバム『The Beatles』はそれぞれの個性を際立たせた作品となった。

ソロとして活動することが多くなっていた4人は、1969年1月30日にビートルズの持つ会社アップルの屋上で、グループとして最後のライブを行った。更に最後の結束としてアルバム『Abbey Road』を製作した後、解散。ビートルズの解散は1970年4月10日に報道されたポールの敗退宣言で、公になった。解散は、4人がアーティスト、また人間として成長した証でもあった。音楽性も考え方も異なってしまった4人をいつまでもビートルズとして括り付けておくことは不可能であり、それぞれが信じる道を歩むことにしたのは、ごく自然な選択だった。

ビートルズは解散後も世界中に多大な影響を与え続けている。ビートルズに触発されて生まれたアーティストは数知れず、ビートルズによって音楽の可能性が無限に広がったといっても過言ではない。音楽に留まらず、ビートルズという存在そのものが社会に与えた影響も見逃すことは出来ない。物ではなく心のあり方に真実を求め、愛を歌い、新しいことに挑戦した4人の姿は、ビートルズを知った人々に少なからず作用し、その影響は音楽という領域を超えた様々な形で開花している。

そしてビートルズが奏でる愛のメッセージは、これからも一層の輝きと重要な意味を持って、永遠に伝えられるだろう。

東西四大学によるビートルズ・セレブレーション！
若人達による演奏を、どうぞお楽しみください。

The Long And Winding Road (Intro)

The long and winding road
That leads to your door
Will never disappear
I've seen that road before
Don't leave me waiting here
Take me to your door
長く曲がりくねった道
それは貴方のドアへ通じていて
決して消えることはない
以前もみたことのある道
私を見捨てないで
貴方のドアへ連れて行って
(歌詞を使わずMCのバックとして演奏)

I Want To Hold Your Hand

Oh yeah, I'll tell you something
I think you'll understand
When I say that something
I wanna hold your hand
And when I touch you I feel happy inside
It's such a feeling
That my love I can't hide
そう、話したいことがあるんだ
わかってくれると思うけど
話したいことっていうのは
君の手を握りたいってこと
君に触れると幸せな気持ちになる
この気持ちはとても
隠せない

Can't Buy Me Love

Can't buy me love
I'll buy you a diamond ring my friend
If it makes you feel alright
I'll get you anything my friend
If it makes you feel alright
I don't care too much for money
Money can't buy me love
Can't buy me love,
Everybody tells me so
Can't buy me love, no, no, no, no
愛はお金じゃ買えない
ダイヤの指輪を買ってあげるよ
それで気がすむなら
なんでも手に入れてあげるよ
それで君の気がすむなら
僕にはお金なんてどうでもいい
お金じゃ愛は買えない
みんながそう言う
お金で愛は買えない、ダメ、ダメ！

Help!

Help! I need somebody
Help! Not just anybody
Help! You know I need someone
Help!
When I was young
So much younger than today
I never needed anybody's help in any way
But now these days are gone
I'm not so self-assured
Now I find I've changed my mind
And opened up the doors
Help me if you can
I'm feeling down
And I do appreciate you being round
Help me get my feet back on the ground
Won't you please, please help me
助けて！ 誰かお願い
助けて！ 誰でもいいってわけじゃないけど
助けて！ 誰か力を貸して欲しいんだ
助けて！
私がずっと若かった頃は
何をするにも助けてなんて必要じゃなかった
でもそれはもう昔の話
自信が持たなくなってきて
いつの間にか考えを変えた
心の扉を開こうって
できたら君に助けて欲しい
落ち込んでいるんだ
そばに居てくれることを感謝するよ
立ち直る手助けをして欲しい
どうか、お願いだから助けて

Yesterday

Yesterday, all my troubles seemed so far away
Now it looks as though they're here to stay
Oh, I believe in yesterday.
Suddenly, I'm not half the man I used to be,
There's a shadow hanging over me.
Oh, yesterday came suddenly.
Why she had to go I don't know she wouldn't say.
I said something wrong, now I long for yesterday.
Yesterday, love was such an easy game to play.
Now I need a place to hide away.
Oh, I believe in yesterday.
昨日、全ての揉め事など私には関係ないと思っていた
今はそれがいつもここにあるように見える
ああ、昨日であればよいのに
突然自分が今までの半分にも及ばない存在になったよう
影が私を覆いつくす
ああ、昨日は突然やってきた
なぜ何も言わず彼女が去らねばならなかったのか
僕にはわからない
何か愚かなことを言ったのか、今僕は昨日に焦がれる
昨日、愛などちょっとした遊びだと思っていた
今は僕には隠れる場所が必要だ
ああ、昨日であればよいのに

Penny Lane

Penny Lane
There is a barber showing photographs
Of every head he's had the pleasure to know
And all the people that come and go
Stop and say hello
And on the corner is a banker with a motor car
The little children laugh at him behind his back
And the banker never wears a MAC
In the pouring rain
Very strange
Penny Lane is in my ears and in my eyes
There beneath the blue suburban skies
I sit and mean while back
Penny Lane is in my ears and in my eyes
There full of fish and finger pies in summer
Meanwhile back
ペニー通りには
床屋さんがあって
今まで刈った頭の写真を全部飾っている
行き交う人たちはみんな立ち止まって
こんには
角には自動車を持っている銀行家
子供たちは影で彼のことを笑ってる
だって銀行家は雨が降っても
絶対にカッパを着ない
へんなの
ペニー通りは僕の耳と目の中に
あの青い郊外の空の下で
僕は腰をおろす
ペニー通りは僕の耳と目の中に
夏にはフィッシュ&フィンガー・パイ

Good Day Sunshine

Good Day Sunshine, Good Day Sunshine
I need to laugh and when the sun is out
I've got something I can laugh about
I feel good in a special way
I'm in love and it's a sunny day
Good Day Sunshine, Good Day Sunshine
いいお天気
笑わなきゃ、太陽が出てきたし
何か笑えることがあるはず
特別なやりかたで僕は気分がよくなる
恋してる、それにいい天気
なんていい天気

Here, There, And Everywhere

To lead a better life
I need my love to be here
Here, making each day of the year
Changing my life with a wave of her hand
Nobody can deny that there's something there
I want her everywhere
And if she's beside me I know I need never care
But to love her is to need her everywhere
Knowing that love is to share
To be there, and everywhere
Here, there and everywhere
より良い人生を送るため
愛する人が僕のそばに欲しい
ここで 一日一日を積み重ね 年輪を重ねていく
彼女が手を振るごとに 僕の人生を変えてくれる
ここには何かがあると 誰もが認めざるを得ない
どこにいても僕のそばにいてほしい
そばにいてさくればそれでいい
愛することは二人が一緒にいること
愛とは分かち合うこと
何時でも そばに
ここでも そこでも どこでも

Let It Be

When I find myself in times of trouble
Mother Mary comes to me
Speaking words of wisdom
Let it be
And in my hour of darkness
There is still a light that shines on me
Shine until tomorrow
Let it be
Let it be, let it be, let it be, let it be
Speaking words of wisdom
Let it be
悩み苦しんでいるときには
母なるマリアがやってきて
知恵ある言葉をかけてくれる
なすがままに、と
闇に包まれているときでも
そこには僕を照らしてくれる光がある
明日まで照らしておくれ
なすがままに
知恵ある言葉をかけてくれる
なすがままに

Hey Jude

Hey Jude, don't make it bad
take a sad song and make it better
The minute you let her under your skin
Then you begin to make it better
And anytime you feel the pain
Hey Jude refrain
don't carry the world upon your shoulders
For well you know that it's a fool
who plays it cool
By making his world a little colder
Na na na na na
Hey Jude, don't be afraid
You have found her, now go and get her
The minute you let her under your skin
Then you begin to make it better
Better, better, better, better, better, oh
Na, na na na na na na hey Jude
ねえ、ジュード、悪い方に考えないで
悲しい歌でも良いものにしていこう
彼女の心をしっかりとつかめば
きっと良い方向へ向かうはずだよ
辛いときはいつでも
ねえ、ジュード、思い出して
世界を一人で背負わなくていいんだよ
君もわかっているだろう
冷静なふりをしているヤツはバカだってこと
ねえ、ジュード、こわがらないで
彼女と出会えたんだから、君のものにするんだ
彼女の心をしっかりとつかめば
きっと良い方向へ向かうはずだよ
良い方向へ、良い方向へ・・・





指揮者 佐藤 正浩

慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

東京藝術大学声楽科卒業。ジュリアード音楽院ピアノ伴奏科修士課程修了。

1992年から、サンフランシスコ・オペラの専属ピアニストとして研鑽を積む。1995年、ケント・ナガノ氏の招きでリヨン国立歌劇場の首席コレペティートルに就任し20を超える作品の公演に参加。以降、ナガノ氏、ゲルギエフ氏、チョン・ミョンフン氏他のアシスタントとして、パリ・シャトレ座、ラヴェンナ音楽祭、ウィーン芸術週間などで活躍。1999年、イギリス・ダーティントン音楽祭で「イドメネオ」を指揮し、指揮者としてデビュー。2000年には、新国立劇場で「オルフェオとエウリディーチェ」を指揮し、日本デビュー。和光市にて2008年から「ヴェルディー・プロジェクト」を開始し、「ナブッコ」で三菱UFJ信託音楽賞を受賞。また白虎隊をテーマにしたオペラ「白虎」(宮本益光/加藤昌則)を会津若松で初演し佐川吉男音楽賞を受賞。

これまでに読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪センチュリー交響楽団等を指揮。また、Orchestre "Les Champs-Lyrics" を設立し活動している。

愛知県立芸術大学非常勤講師、慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団正指揮者。



指揮者 伊東 恵司

同志社グリークラブ

1990年同志社大学を卒業(ポストモダン芸術論を専攻)。90年以降多数の合唱団で合唱指導を開始。'99年から出場した全日本合唱コンクールでは「なにわコラリアーズ」の10年連続金賞を始め複数の合唱団で22個の金賞(12度の特別賞)を受賞。宝塚国際室内合唱コンクール20周年記念大会では海外の団体をおさえ総合グランプリを獲得している。現在は、全国各地で審査員や合唱指導を引き受けるほか「アルティ声楽アンサンブルフェスティバル(京都)」「コーラスめっせ(大阪)」等の新規合唱フェスティバル、学生指導者合宿の企画や主催を行っている。また、世代間を取り結ぶ「京都のわらべ歌プロジェクト」の企画等、合唱を使った多彩な仕掛けを行っており広く各方面からの注目も浴びている。京都府合唱連盟理事、日本合唱指揮者協会理事、21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」会員。カワイ出版より「スチューデントソングブック(共編著)1・2」を上梓。近年では「みなづきみのり」のペンネームで作詞活動を展開。松下耕、高嶋みどり、千原英喜、信長貴富、相澤直人、松本望、北川昇…等の作曲家により合唱曲が多数作られている。



指揮者 藤井 宏樹

早稲田大学グリークラブ

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を畑中良輔氏に、指揮を黒岩英臣氏に師事。

現在、全11団体を有する《樹の会》、Ensemble PVDの音楽監督を務める。

国内外の合唱コンクールにおいては1位、2位という高い評価を得て、海外に招聘される機会も多い。

近年ではトロサ国際合唱コンクール、全日本合唱コンクール等の審査員や、合唱講習会の講師、現代作曲家への委嘱活動、Tokyo Cantat等の企画も積極的に行っている。

オーケストラとの共演も多く、東京交響楽団などとともに数多くの演奏を指揮し、好評を博している。

合唱人集団「音楽樹」副代表幹事。東邦音楽大学特任准教授。JCDA日本合唱指揮者協会会員。



指揮者
広瀬 康夫 関西学院グリークラブ
 合同ステージ

神戸に生まれる。関西学院高等部を経て関西学院大学経済学部を卒業。グリークラブでは学生指揮者を務める。1987年より関西学院に勤務し、グリークラブをはじめ多くの合唱団の指導にあたりとともにカルテットやソリストとしても活動する。1999年、BHS(Barbershop Harmony Society)に登録し、日本でのバーバーショップハーモニーの普及に努める。

故北村協一氏に指揮法を、大久保昭男氏、井上和世氏に声楽を、Egisto Matteucci氏に教会音楽および合唱指導を師事。現在、関西学院グリークラブ技術顧問、新月会指揮者、コール・セコインデ常任指揮者、金沢メンネルコール客演指揮者、九州フレッシュメンコア技術顧問、グリークラブ香川技術顧問、日本男声合唱協会(JAMCA)個人会員、平成指揮者十人の会同人、BHS(本部アメリカ)会員、MBHA(Mixed Barbershop Harmony Association; 本部アメリカ)会員。



ピアノ
前田 勝則 慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

山口県に生まれる。東京学芸大学教育学部芸術課程音楽専攻卒業。東京芸術大学大学院音楽研究科首席修了、修了時にNTTドコモ奨学金を授与される。ピティナ・ピアノコンペティションデュオ部門特級最優秀賞受賞をはじめとして、多摩フレッシュ音楽コンクール、日本室内楽コンクール、吹田音楽コンクール、大曲新人音楽祭コンクール、かずさアカデミア音楽コンクールなどに上位入賞。また、NHK-FM「土曜リサイタル」、東京文化会館新進音楽家デビューコンサート、ABC新人コンサート、日演連推薦／新人演奏会などのオーディションに合格、演奏会に出演。これまでに、大阪フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉と共演。現在、ソロ、室内楽、及び声楽・合唱のピアニストとして活発な演奏活動を繰り広げている。



ピアノ
萩原 吉樹 同志社グリークラブ

12歳よりピアノを始める。滋賀県立石山高校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専修卒業。ワイオミング州立大学大学院より奨学金を受け、同研究科に2年間在籍。同大学院にてPerformer's Certificate(演奏家証書)を取得。帰国後、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。ソロ、歌曲伴奏、室内楽、オーケストラ鍵盤楽器奏者として活動中。

ワイオミング大学コンチェルトコンクールに入賞、ヒルトンヘッド・アイランド国際ピアノコンクール(米国)にてディプロマ賞を受賞。京都市音楽使節団に選出され中国(西安)を訪問し音楽会を催す。平和堂財団より新進芸術家奨励賞を受賞。ピアノを椿久美子、田隅靖子、ゲアリー・スマートの各氏に師事。パイプオルガンをメアリー・ジョーンズ氏に師事。1999年～2011年「(財)神戸市演奏協会」神戸市混声合唱団ピアニスト。現在、滋賀県立石山高等学校音楽科、京都女子大学非常勤講師。



ピアノ
鈴木 あずさ 早稲田大学グリークラブ

5歳からピアノを始める。その後両親と共に渡米。マンハッタン音楽院、ジュリアード音楽院においてピアノをE. バイマン、C. ロバーツ各氏に師事。帰国後、桐朋学園女子高等学校を経て同大学ピアノ科を卒業。ピアノを小川京子、小島準子の各氏に、室内楽を三善晃、末吉保雄、岩崎淑の各氏に師事。1979年から1982年まで草津国際音楽フェスティバルに参加。アンサンブルを遠山慶子市に師事。2009年、全日本合唱連盟東北支部創立60周年記念表彰を受ける。ソロ、室内楽のリサイタルのほか、現代音楽の新作の初演も数多く手がける。近年は東京混声合唱団の録音をはじめとして、合唱の共演者としても幅広く演奏活動を行っている。



ヴォイストレーナー
小貫 岩夫 慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団
関西学院グリークラブ

同志社大学卒業後、大阪音楽大学卒業。

音大在学中の95年「魔笛」タミーノ役に抜擢され、テオ・アダムと共演しデビュー。この成功により翌年、ケムニッツ市立歌劇場（ドイツ）に招聘出演し地元紙より好評を得る。

文化庁オペラ研修所第11期修了。98年度文化庁派遣でミラノへ留学。

帰国後数々のコンクールで優勝・入選し、二期会、新国立劇場を中心に活躍。07/10年二期会「魔笛」タミーノ役（実相寺昭雄演出）、11年佐渡裕プロデュース「こうもり」アルフレード役などで喝采を浴びた。近年は立て続けに二期会のオペレッタで主役を歌い、なくてはならない存在となっている。

コンサートでも、主要オケとの共演で高い評価を得ている他、テレビ・ラジオにも度々出演。2010年から毎年、東京と大阪でリサイタルを開催し好評を得ている。

2013年天皇后陛下御親覧の舞踏会で演奏しお言葉を賜る他、フィレンツェではイタリア元首相夫妻主催のコンサートに招かれた。

二期会会員。



ヴォイストレーナー
北村 敏則 同志社グリークラブ

京都市立芸術大学声楽専攻卒業。同大学院修了後ウィーン留学。音楽学部賞及び大学院賞を受賞。第2回日本シェーベルト協会(J.S.G)国際歌曲コンクール第1位および聴衆審査特別賞受賞。第6回ボルツァーノ(北イタリア)歌曲コンクール第1位及びアダ・ヴェルバ賞受賞。第1回青山音楽賞、京都市芸術新人賞受賞。現在、京都市立芸術大学准教授、関西二期会会員、日本シェーベルト協会会員。



ヴォイストレーナー

石原 祐介

同志社グリークラブ

声楽科、合唱指揮者、ボイストレーナー。京都市立芸術大学、同大学院音楽研究科声楽専攻を卒業、修了。卒業時に音楽学部賞を受賞。第21回飯塚新人音楽コンクール第2位。世界合唱連合(IFCM)主催 World Youth Choir、World Chamber Choir 元日本代表メンバー。声楽を灘井誠、山口はやとの各氏に、指揮法を青木邦雄氏に、合唱指揮を吉村信良氏に師事。また、T.カリュステ氏、E.オルトナー氏、松原千振氏による合唱指揮マスタークラスを修了。現在、神戸市混声合唱団コンサートマスター。京都市立芸術大学非常勤講師。JCDA 日本合唱指揮者協会会員。



ヴォイストレーナー

和田 ひでき

早稲田大学グリークラブ

早稲田大学第一文学部哲学科卒。在学中はグリークラブに所属、パートリーダーを務めた。日本オペラ振興会育成部修了。オペラ出演は既に50作品を越え、最近の主な出演は、千住明「万葉集」(指揮:大友直人) シューマン「ゲノフェーファ」(指揮:山下一史) モンテヴェルディ「ボッペアの戴冠」(指揮:濱田芳通) など常に高い評価を受けている。俳優としても活躍しミュージカル「恋娘近松合戦!」「夏花火♥恋名残」「Into the woods」「Company」ストラヴィンスキー「兵士の物語」兵士役、映画「亭主調理法」亭主役などで好評を博し、古楽からミュージカルまで、幅広いジャンルで活躍している。また仏語の字幕翻訳スタッフとしても活動、MET ライブビューイング、パリオペラ座来日公演などを担当、翻訳作品は30を越える。近年は日本語訳詞も手掛け、ラヴェル「子供と魔法」の訳詞が小澤征爾指揮で上演された。その他仏語ディクション指導、合唱指導など多彩な活動を展開している。2003年パリ留学。同年ガスコーニュ国際声楽コンクールオペラ部門ファイナリスト。

<http://yaplog.jp/kadenteikura/>

慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団



顧問 : 福岡 正夫, 神谷 傳造, 山田 太門
ヴォイストレーナー : 小貫 岩夫

正指揮者 : 佐藤 正浩
部長 : 塩澤 修平

ワグネル・ソサィエティーは、1901年に創立された慶應義塾の音楽団体です。その名称は、近代楽壇に一生面を開いたリヒャルト・ワーグナーを敬慕してつけられたものであり、音楽学校以外ではわが国初の学生音楽団体として発足しました。オーケストラ、女声合唱団と並びその一角を占めるのが、私ども慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団です。

当団は100年を優に超える歴史の中で、木下保先生、畑中良輔先生（当団桂冠指揮者）、北村協一先生といった先生方の薫陶を長きに渡り受けてきました。アンサンブルにおいて一音の妥協も許さないという音楽に対する真摯な姿勢は、創立以来今日に至るまで脈々と受け継がれています。緻密な発声指導に基づく豊かな音色は「ワグネル・トーン」の異名をとり、大学合唱団屈指の知名度と実力との評判を頂いております。当団は常に自主性を尊重し、1年生から4年生までが時にぶつかりながらも支え合い、一丸となって音楽を作り上げています。

現在の活動は、東京六大学合唱連盟定期演奏会・東西四大学合唱演奏会・単独の定期演奏会を柱に、塾内行事への参加や国内外の演奏旅行、企業やホテルなどからの依頼を受けての演奏、オーケストラとの共演、テレビ出演など多岐にわたっております。近年では、『イーハトーヴ交響曲』世界初演（2012年）、東西四大学合唱演奏会における「男声合唱のための合唱詩『ふなたび』」委嘱初演（2013年）なども話題となりました。

当団は常にレパートリーの拡大を目指しております。近年では佐藤正浩先生（当団正指揮者）のご指導のもと、フランス音楽での表現力向上を図ってまいりました。また東京六連では、当団OBでもおられる仲光甫（Steve/jammin'Zeb）先生のもと、バーバー・ショッパ・ハーモニーに挑戦しました。

今後も、弛まぬ努力で最高品質の音楽を追求していく当団の活躍にご期待ください。

Top Tenor

大橋 誠（経済4）慶應義塾
○河野 泰佑（法4）慶應志木
◎野口 遼太（商4）県立甲府南
山田 涼平（経済4）慶應志木
鳥羽 雅史（経済3）県立浦和
大西 将史（経済2）慶應義塾
亀井 慶輔（法2）應義義塾
鴨井 秀和（商2）県立半田
小島 光（医2）慶應志木
野口 直杜（商2）大宮開成
安永 剛（理工2）高槻

Second Tenor

郷内 琢也（薬4）県立仙台第一
○高橋 伸明（文4）成城
八島 淳（商4）鎌倉学園
大岡 充（理工3）開成
武山 陸（経済3）渋谷幕張
平田 亮（商3）道立旭川東
金子 晃久（法2）県立甲府南
島田 莉生（法2）慶應志木
関 将希（理工2）慶應志木
守屋 瞭（商2）県立平塚江南
春田 大智（経済1）開成
福田 佑生（法1）慶應志木
別府 洸太（法1）慶應義塾
横山 悠河（商1）八千代松陰

Baritone

☆飯泉 暁斗（経済4）江戸川学園取手
大高 賢人（総合4）浅野
○安達 栄作（経済3）慶應志木
大澤 皓一（理工2）県立熊谷
小山 直也（法2）東大寺学園
清水 俊宏（経済2）慶應志木
仲田 知史（経済2）慶應志木
名川 武志（理工2）渋谷教育学園渋谷
西村 正樹（文2）県立浦和
松本 翔（法1）慶應志木

Bass

○茂木 謙介（文4）慶應志木
池尻 佳史（商4）ICU
藤野 貴文（文3）都立日比谷
横山 楓（文3）慶應志木
飯野 周（法2）慶應志木
上水流 将吾（理工2）県立湘南
篠田 知希（薬2）慶應志木
戸田 光祐（経済2）慶應志木
谷口 雄太（文2）慶應志木
馬場 翔太郎（文2）都立八王子東
山内 祥平（理工1）県立湘南

☆：責任者
◎：学生指揮者
○：パートリーダー

同志社グリークラブ



顧問 : 岸 基史
 ヴォイストレーナー : 北村 敏則, 石原 祐介

技術顧問 : 伊東 恵司
 専属ピアニスト : 松井 萌

同志社グリークラブは1904年に創立された今年で112年目を迎える同志社大学の男声合唱団です。先輩方をはじめ多くの関係者のご尽力により、このクラブは112年もの間、合唱界をリードする存在として常に輝いてきました。

創立当初はまだ「同志社グリークラブ」という名前は使っておらず、「クワイア」、「ダビデ・クワイア」と称しておりましたが、1911年に故片桐哲氏（後の同志社女子大学第2学長）を名付け親として、現在の名称で呼ばれるようになりました。その時に歌われていたのが讃美歌317番「はなよりもめでにし」であり、これが同志社グリークラブの名のもとに歌われた最初の曲とされています。それ以来音楽への情熱を貫き、「椰子の実」の作曲者として知られる故大中寅二氏、音楽評論家の日下部吉彦氏、合唱指揮者の浅井敬壹氏など数多くの優れた音楽家を輩出して参りました。

現在の活動は、定期演奏会、東西四大学合唱演奏会、全同志社メサイア演奏会、全日本合唱コンクール、テレビ出演等と、活動内容は多岐にわたっています。昨年度では、マレーシア演奏旅行を行いました。このような幅広い活動ができますのも、私達の活躍に期待を寄せてくださる多くの方々のご支援の賜物にほかなりません。恵まれた環境で日々歌えることに感謝し、同志社グリークラブの精神である「聴衆と一体となった音楽」を失うことなく、魂のこもった音楽を目指して、より一層邁進してまいります。

Top Tenor

◎東 大生 (政策 4) 同志社
 (兼パートリーダー)
 加納 雄太 (法 3) 山口
 小窪 圭知 (生命医科3) 東北学院
 国本 健吾 (商 3) 西城陽
 竹岡 大志 (文 3) 奈良
 遠藤 優己 (商 2) 花園
 片岡 良介 (理工 2) 関西
 森 一就 (社会 2) 成城
 佐々木 周平 (文 2) 東福岡

Second Tenor

○藤島 雄磨 (心理4) 伊那北
 山口 晴 (文 4) 旭丘
 林 隆徳 (理工3) 可児
 平松 聡一郎 (文 3) 北千里
 市来 颯斗 (理工3) 天理
 民秋 駿 (理工2) 光泉
 脇岡 碧 (経済2) 基町
 八木 和貴 (理工2) 日生学園第3

Baritone

☆中川 大治郎 (政策4) 福岡大大濠
 塩谷 渉 (理工4) 名大教育学部付属
 竹内 誉満 (経済4) 半田
 枇榔 秀仁 (法 3) 神戸龍谷
 服部 祥堯 (理工3) 一宮興道
 堀江 恭平 (理工3) 城東
 ○山下 洋介 (理工3) 松本深志
 千代 恵大 (経済2) 洛星
 宮本 真生 (理工2) 東大寺学園
 長居 寛之 (法 2) 北千里
 鈴木 俊政 (理工2) 山形東

Bass

黒澤 優太 (経済 4) 同志社国際
 ○山口 雄人 (心理 4) 北野
 福島 大揮 (理工 3) 明石北
 平佐 通 (法 3) 桜塚
 松本 英介 (理工 3) 五条
 村井 夏生 (文化情報3) 北陸学院
 亀崎 裕貴 (経済 2) 八代
 奥山 達矢 (法 2) 熊谷
 矢川 太智 (文 2) 加古川南

早稲田大学グリークラブ



【写真提供：ステージライブ】

会長：伊東 一郎

ヴォイストレーナー：和田 ひでき

早稲田大学グリークラブは早稲田大学音楽会の声楽部として活動を開始し、1907年（明治40年）に、早稲田大学の創立25周年を記念して作られた校歌、通称『都の西北』と共に、初代グリークラブが結成されました。

創立109年目を迎える今日に至るまで早稲田大学と共に歴史を歩んできた伝統ある合唱団であり、作曲家の磯部俣、声楽家の岡村喬生、コーラスグループのボニージャックスなど、音楽会の第一線で活躍する数多くのOBを輩出してきました。

現在は100名ほどの部員が所属しており、春夏秋冬、年4回の演奏会を中心に、入学式や卒業式などの大学公式行事における演奏や、国内・国外への演奏旅行、小・中・高校における音楽鑑賞会への出演、企業からの依頼演奏など、幅広い音楽活動を行っております。

国内外のオリジナル男声合唱曲はもちろんのこと、学歌から民謡、ポピュラー音楽まで幅広いジャンルの曲を演奏しております。また新曲の委嘱活動にも意欲的であり、最近では100周年記念の際にミュージシャンである小田和正氏、第60回定期演奏会では「花は咲く」の作曲で有名な菅野よう子氏、第62回定期演奏会では悪魔教布教団体「聖飢魔II」の主宰であるデーモン閣下の委嘱初演をさせていただきました。また、合唱を中心に据えたミュージカルなどにも挑戦するなど、「合唱」の枠に囚われない音楽活動を行っています。

常日頃、ただの合唱団ではない、最高のエンターテインメント集団であると自負する我々早稲田大学グリークラブではございますが、今回の第65回東西四大学合唱演奏会では一転して「ハレー彗星独白」で高度なハーモニーの合唱をお送りいたします。ある時はクラシカルに、またある時はカジュアルに。メリハリのある音楽を創ることができる早稲田大学グリークラブの本気をお聞きください。

Top Tenor

石川 稜太（商 4）戸塚
児玉 良（文 4）光陵
○古田 夏樹（商 4）攻玉社
高木 俊一郎（文構 3）開智中高一貫
中島 龍之介（文構 3）開智未来
中田 亮太郎（基理 3）渋谷教育学園渋谷
西帯野 貴紀（商 3）延岡学園尚学館
上本 孝志郎（先理 2）横浜平沼
小林 佑介（文 2）市川
橋本 哲也（教育 2）大宮
八木 遼太郎（法 2）柏陽高校
山下 智也（政経 2）聖光学院

Second Tenor

☆新井 晴晶（教育 4）早大学院
○奥村 恒（教育 4）巣鴨
小暮 千紘（文 4）三島
佐藤 俊輔（教育 4）武蔵
清水 貴裕（創理 4）逗子開成
石川 裕規（創理 3）暁
大海 修平（教育 3）世田谷学園
仲川 裕麻（文構 3）川和
藤井 大輔（商 3）攻玉社
山田 圭悟（文 3）桐朋
鴨志田 優人（教育 2）水城
川村 航希（先理 2）駒場東邦
藤田 稔吏（文 2）八王子東
吉川 雄基（法 2）熊谷

Baritone

好士崎 雄飛（政経 4）聖光学院
○佐藤 尚至（政経 4）秋田
山淵 陽介（文構 4）東洋大学附属姫路
青木 南（創理 3）熊谷
亀田 康平（創理 3）東邦大学付属東邦
桐原 弘亘（文 3）暁星
中川 毅紀（教育 3）静岡
帆刈 晴宣（政経 3）暁星
宮原 雅人（先理 3）香川誠陵
杉村 駿（人科 2）三島北
前田 直樹（政経 2）海城

Bass

阿久津 拓也（文 4）鎌倉学園
○小野 直也（基理 4）伊那北
門倉 永（基理 4）武蔵
○小林 昌司（文 4）会津
吉元 崇紘（政経 4）宮崎大宮
新村 拓生（文 3）中央学院
田上 裕貴（文構 3）東葛飾
中山 景斗（先理 3）宇都宮
長谷川 正己（政経 3）浦和
水上 傑大（文構 3）旭川東
宮路 将人（創理 3）川越
岡村 恒平（文構 2）熊谷
田中 涉（基理 2）早大本庄
藤本 卓弘（法 2）水戸第一
渡邊 健太郎（法 2）本郷

☆：部長

◎：学生指揮者

○：パートリーダー

関西学院グリークラブ



顧問 : 嶺重 淑 技術顧問 : 広瀬 康夫
 ヴォイス 트레이ナー : 小貫 岩夫 運営顧問 : 矢橋 洋 運営顧問補佐 : 中村 翔

関西学院グリークラブは、関西学院創立から10年後の1899(明治32)年、神戸市郊外の新田の森(現在の王子公園付近)に誕生し、以来現在まで116年間にわたり活動を継続している日本で最も長い歴史を持つ男声合唱団です。音楽家の山田耕筰、林雄一郎、北村協一をはじめ、経済界にも多くの著名な人材を輩出しています。

コンクールにおいては戦前の競演会を含め1963年までに全国大会に18回出場、招待演奏2回など輝かしい実績を残しました。2006年より出場を再開、2015年度までの10年間で全国大会に9回出場し金賞を7回受賞するなど、常に日本の合唱界をリードし続けています。

時代とともに学生の気質は変化する一方、その長い歴史の中で代々受け継がれてきたものが、クラブモットーである「メンタルハーモニー」です。部員一人ひとりの精神的調和を目指すことで生まれる独自のハーモニーは関学トーンと呼ばれ、今日に至ってもなお、多くの人々に愛されています。その精神を柱に、限られた時間の中で一つひとつの演奏会に真摯に取り組み、関西学院グリークラブの歴史に新しいページを作り上げるべく、日々不断の努力を重ねています。

Top Tenor

○加藤 元気 (文4) 関西学院
 澤田 真澄 (教4) 履正社
 長谷川 陸朗 (商4) 滝川
 ☆村上 健登 (商4) 関西学院
 石川 剛史 (理3) 関西学院
 川島 圭司 (社3) 五条
 嶋崎 裕基 (文3) 関西学院
 安東 大器 (神2) 三田西陵
 生嶋 翔太郎 (法2) 淳心学院
 石本 康輔 (経2) 関西学院
 大谷 龍 (文2) 須磨東
 桑本 貴之 (文2) 関西学院
 齋藤 匠 (神2) 横須賀学院
 南部 直樹 (経2) 啓明学院
 三根 智也 (教2) 関西学院
 今村 駿平 (文1) 松山東
 上本 樹 (文1) 関西学院
 阪本 知弥 (教1) 関西学院
 高安 亮太 (文1) 関西学院
 内藤 敬太 (社1) 清風
 野田 脩介 (理1) 関西学院

Second Tenor

栗井 泰 (経4) 御影
 ○阪西 努 (経4) 関西学院
 谷澤 直樹 (経4) 関西学院
 ◎新関 祥崇 (文4) 大阪明星学園
 野々口 貴理 (経4) 篠山鳳鳴
 秦 祐樹 (文4) 関西学院
 小竹 波輝 (経3) 早稲田大学系属早稲田
 金井 秀道 (社3) 渋谷シシギョウ
 早野 貴大 (文3) 豊中
 村瀬 祐貴 (社3) 旭
 山本 怜央 (理3) 御影
 若松 佑輔 (文3) 東筑
 稲川 和希 (経2) 伊川谷北
 川合 悠介 (理2) 関西学院
 小西 隆弘 (経2) 近畿ラ・サール
 近藤 匠 (理2) 聖心学園
 澤井 敦志 (理2) 都島工業
 竹中 大騎 (社2) 近畿大学附属和歌山
 立野 雅也 (商2) 富山
 中川 泰祐 (商2) 関西学院
 前谷 泰大 (社2) 亀岡
 吉元 良介 (経2) 西宮
 稲垣 大志 (理1) 関西学院
 大谷 俊太 (理1) 関西学院
 中川 三嘉 (文1) 近江兄弟社
 野田 純之介 (理1) 関西学院
 秦 芳樹 (商1) 関西学院
 船登 大輝 (社1) 嵯峨野
 前原 明拓 (文1) 宝塚西
 森 圭市 (社1) 一宮

Baritone

竹本 征悟 (経4) 清風
 多田 昌平 (商4) 関西学院
 ○羽豆 太洋 (社4) 敬和学園
 林 賢志 (経3) 広島学院
 村上 拓也 (文3) 西城陽
 森脇 稜介 (人3) 三田学園
 矢野 陸斗 (社3) 関西学院
 岡田 峻典 (教2) 崇徳
 岡崎 佳毅 (経2) 西脇
 栗原 優太 (社2) 育英
 田中 智大 (文2) 明星
 續木 幹大 (文2) 西条
 森 一真 (教2) 清教学園
 森松 利浩 (経2) 関西学院
 吉田 拓海 (経2) 関西学院
 石川 龍太 (社1) 敬和学園
 香川 大地 (文1) 藤井
 畑堀 克仁 (経1) 関西学院
 三木 光太郎 (経1) 舟入

Bass

岡田 直之 (経4) 高松
 佐田 喬 (社4) 福岡中央
 道京 暁太 (文4) 田辺
 西口 健斗 (経4) 京都成章
 松浦 真也 (教4) 生駒
 村田 裕彰 (社4) 京都
 ○山崎 寛希 (文4) 関西学院
 伊藤 将也 (経3) 鳴尾
 井上 巧 (理3) 東明館
 笠原 大輝 (経3) 関西大倉
 川口 健太郎 (文3) 寝屋川
 中川 陽太 (経3) 関西学院
 清水 智晴 (社2) 岡山白陵
 杉原 慶彦 (経2) 松江北
 谷川 泰基 (社2) 池田
 津田 祥吾 (商2) 西宮東
 西本 嵩 (教2) 関西学院
 松本 尚希 (社2) 上智福岡
 村上 勝顯 (社2) 関西学院
 北浦 康裕 (社1) 近畿大学附属和歌山
 久保 直輝 (文1) 関西学院
 林 浩平 (経1) 仁川学院
 松本 陸 (経1) 駒込
 山田 航大 (商1) 関西学院

Manager

青木 はるな (文4) 履正社
 河田 夏生 (法4) 総社
 細井 美里 (総4) 洛南
 有田 香菜子 (文3) 夢野台
 幾島 佳世 (総3) 千里高校
 伊藤 真由 (法3) 啓明学院
 北城 華代子 (人3) 明治学園
 森 香苗 (社3) 金蘭千里
 稲田 成紗 (文2) 梅光学院
 岩崎 寛子 (文2) 姫路西
 坂根 遥 (文2) 宮津
 杉本 愛美 (文2) 東筑
 辻本 黎 (社2) 智弁学院
 豊田 千尋 (文2) 京都共栄学園

☆: 部長

◎: 学生指揮者

○: パートリーダー



ワグネリアン・カタログ



関東屈指の実力を誇る合唱団体、それが慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団！！学業と両立させながら、そのハイクオリティな音色を維持するのは、大変！ここではそんなザ・リア充、ザ・合唱充なワグネリアンの心安らく休日の一部を紹介します！！ボールを、蹴って動き回る休日を過ごすスポーツマン、音楽に没頭する文化人、ゲームセンターでいろんな音楽ゲームに触れるゲーマー、などワグネリアンの日常は十人十色！どんな団員がどんな日常を過ごしているのか、本カタログで少しでもお伝えできたら幸いです。

SUVタイプ：明るく爽やかなスポーツマン



休日にスポーツをするワグネリアン。運動サークルよりも熱心に活動しているとか！フットサルや野球、果てはフリスビーなど、幅広く手掛けているらしい。

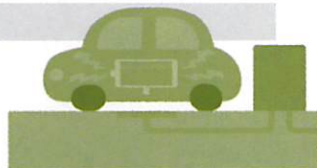
セダントype：文化的なインテリジェンス



休日でも音楽の勉強をしたり、自主練習をしたりすることで、己を高める意識の高いワグネリアン。練習後は絶品グルメをたっぷり楽しんでいる。あれ？思っていたよりも、燃費が悪い気が…。



HVタイプ：スポーツマンとインテリジェンスのハイブリッド



ゲームセンターで音楽ゲームやレースゲームなどを満喫するタイプ。体を動かしながら頭の体操もするハイブリッド系ワグネリアンだ！くれぐれもお金を使いすぎないように…。

マッドボックスタイプ：カオスでフリーダム



何をしているのか、一切不明なワグネリアンたち。自宅でアニメやゲームに熱中する者もいれば、日本各地を飛び回る者、膝を抱えて空を見上げる者も…。そのカオスでフリーダムな姿はまさにマッドボックス！ただ単に無趣味でやることがない者も含まれる。



Sing@earth



注意

本カタログに用いられているイラストは全て、フリー素材集サイト「いらすとや」さんからお借りしました。

サークル紹介 in 同志社グリークラブ

～合唱以外ではこんなことやってます！～



1. 同グリスマブラ部

「スマブラ」(ロクヨン ver)を部室でひたすら行うクラブ。グリーメンの半数以上がこのクラブに所属しており、暇さえあればスマブラ大会が開かれる。完全実力主義で上下関係のない、同グリで最も活動的なクラブである。



2. 同グリソフトボール部

京都今出川で行われるソフトボール大会に出場することを主な活動としているクラブ(目標は当然優勝)。メンバーの八割は素人だが、少数の野球経験者も所属している。今年も新入生から入部希望者が多数おり、年々戦力を増強させつつある。



3. 同グリ筋トレ部

文字通り筋トレをすることを活動としているクラブ。気が向けば普段の合唱練習の合間にもやるが、大抵は夏合宿の際に暑さにやられたメンバーが好き勝手にやっている。つまり基本的には個々の活動で成り立っているクラブである。

4. 同グリ決闘(デュエル)部

それなりに昔からあるクラブ(いつからかは不明)。OB主体なので現役メンバーは少なく、現在は4名ほど。練習の合間に活動しているのをちらほら見かける。

5. 同グリラーメン同好会

元々は新歓活動のために作られた同好会で、現在では今出川・田辺両校地付近のラーメン屋を制覇している。彼らの行きつけの店の中にはゲテモノともいべきラーメンを出す店があるとかないとか。

6. 同グリ合コン部

女性との交流を目的に作られた、男声合唱団においては貴重なクラブ。しかし、現在部員はたった一名であり、実質休部状態にある。かのクラブの復興にグリーメンの人生(彼女の有無)が掛かっていると言っても過言ではない。

その他:同グリラブライ部、同グリポケモン同好会など
非公開サークル多数!

早稲田大学グリークラブ

グリーメンよ きみらはどうして

グリーの歴史が大合唱で始まったのなら
ヒトの中にはやさしい和音が埋め込まれてある
和音はヒトの内から発して
かれの歌を世界へ贈る

グリーメンよ 和音を内から響かせながら
歌と踊りをたづさへてきた きみら
宗教曲も 民謡も ミュージカルも
きみらによつて歌はれる ぼくらの耳へ

ベースにも セカンドにも
トツブにも バリトンにも
グリーメンのいるところ
積み重ねてきた伝統があり 歌があつた

歌は初演のものもあつた
バトリが音と拍を教へた
長さ 時に十数時間に達する発声
パー練はパー練で 念入りだつた

発声は 声の洗練
パー練は 音とるための場
アンサンブルは 四色の音の塗り重ね
(バトリははたして一人だつた?)

楽譜の上にも 指揮者の棒でも
和音の要素はだいに書かれ
練習で命をかけてそれを歌つた
和音を今日も当てに行け 観客の耳へ

主旋律は派手だが 苦勞する
ハモリは単純だが 目立たない
テナーは時に主旋律であり ときにハモリだ
ベースは時にハモリであり ときに主旋律だ

おんがくの終りの姿は
おほよそのところ はつきりわかる
烈しい終りも多いが
しんみりとして優しい終りかたもある

グリーメンよ そしてきみらは どうやつて
ミヤコノセイホクとぼくらが呼んでる 凄い校歌を
明治時代から受け渡された?
あの謎の 始まりの謎の 明治時代から?

歌声歓喜

定演の
晴れの舞台で
歌世界が膨張してある

口から
耳へ
無数のおとを響かす声の
このすさまじいとどろき

観客は心をうたれ
吐息を漏らし 喜喜として
感動を味わいつづける

そのさなかにも
よそからきけば また何といふ
優雅な和音のハーモニーだらう

椅子一杯にもたれて座り
何千人を前に轟く音の響きに
耳を澄まさう

にんげんよ
おまへの知識 体力を
誇るな ここでは

寸秒の停滯もなしに
空気を裂いて響いてゆく音に
おまへの耳の喜びを学べ

虚空を漂い
鼓膜にときどき和音をとどける
柔らかな音の響きを聴きつつ眠れ

そのさなかにも
歌声はまた何といふ
穏やかな響きとなって

絡み合い溶け合う和音の集成なる
かの大きいなる歌の流れを
一人一人の魂の産屋の中に

知らん顔して
ひびかせて
ゐることだらう

グリー・慧星独白

おれがああけちなホールに
鳴り響く時のお祭り騒ぎはどうだ

それに引き替へ
おれが聞こえなくなつたあとの
連中の忘れつぷりのみごととききたら

六十四年ぶりの満員御礼
だつて?
笑はせるぜ おれは集客なんざしちやいない

機嫌よくおれが響いてゆくホールに
ときどきふらふら立ち寄ってくる
あの無機質なわからずやの機械
あの小うるさい観客どもの
言つたりしたりすることときたら

エゴイストらめ

お祭り騒ぎがすめば忽ち
何でも彼でも詰めこんである
パソコンとかいふ雑な薄板に
指一本でこのおれを整理しくさる

やつらだけに通用する
データとかいふ範疇の中で
おれはひとつのファイルとして
片づけられてゐるらしい

やつらはおれがどんなものだから
知つてゐないのか たしかに
やつらは知つちやあゐないのだ

おれが住んでる処では
何事にもあれ何ひとつ
繰り返すものは決してない

おれはいつも
やつらにとつてはいくらでもある
利耶といふ一瞬だけ
やつらの前に
いちどき姿を顕はしてるに
すぎないのだ

この次は趣向をかへて
ぬーッと 突然
イヤホンから
生演奏してくれようか

ララバイ

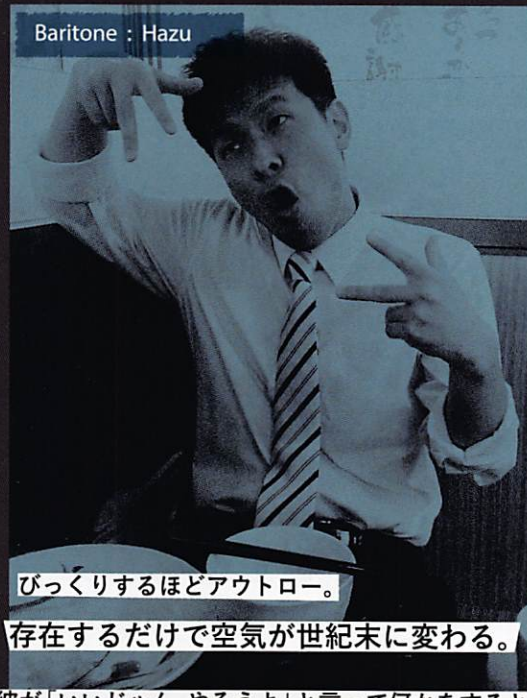
お眠り わかもの
講義のながびく教室の
生徒よ
お眠り
たんいを試験の
出来にあづけて

授業をやつてる先生は
静かに立つて
どもりながら綴つてゐる
ぼくのけつして聞かないだらう
きみのけつして知らないだらう
難解な文字を

お眠り わかもの
講義のながびく教室の
生徒よ
お眠り
お眠り

詩集「大隈講堂の夜」より

Baritone : Hazu



びっくりするほどアウトロー。

存在するだけで空気が世紀末に変わる。

彼が「いいじゃん、やろうよ」と言って何かをしようと大抵ろくなことがない。

行く先々で何よりも優先してインドカレー屋に行きたがる。

ぶっ飛んだ人間の多い117代。

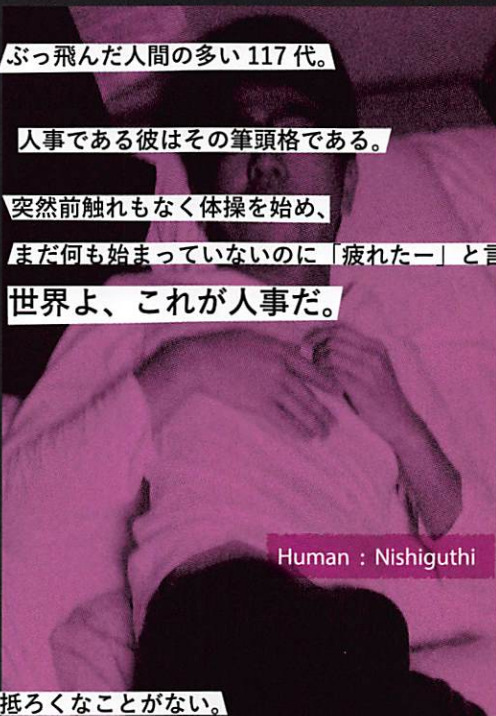
人事である彼はその筆頭格である。

突然前触れもなく体操を始め、

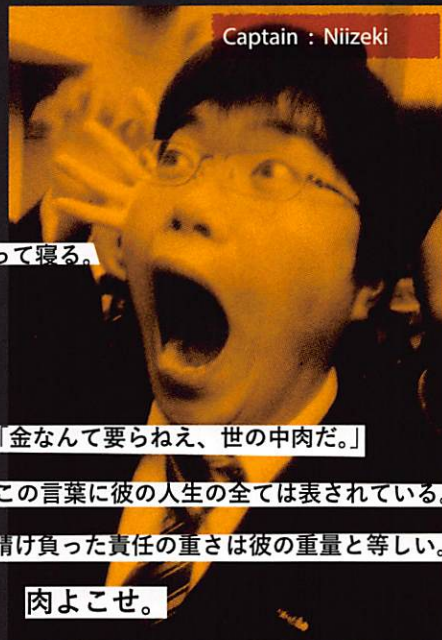
まだ何も始まっていないのに「疲れたー」と言って寝る。

世界よ、これが人事だ。

Human : Nishiguthi



Captain : Niizeki



「金なんて要らねえ、世の中肉だ。」

この言葉に彼の人生の全ては表されている。

請け負った責任の重さは彼の重量と等しい。

肉よこせ。

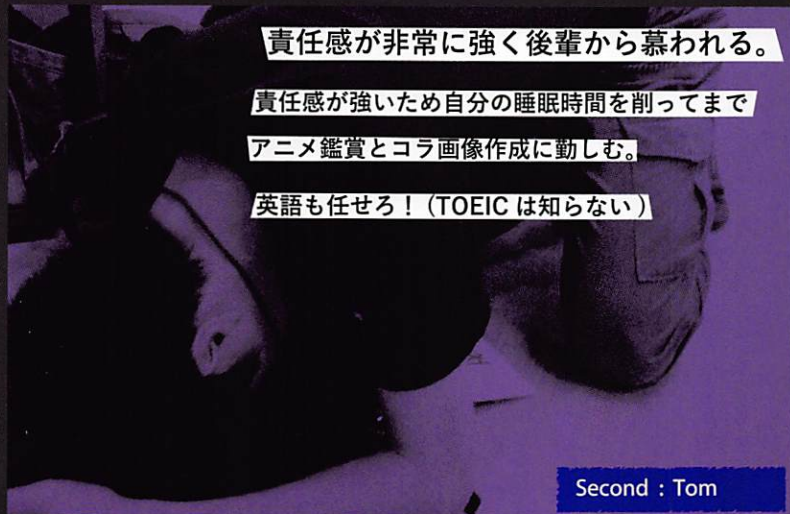
責任感が非常に強く後輩から慕われる。

責任感が強いので自分の睡眠時間を削ってまで

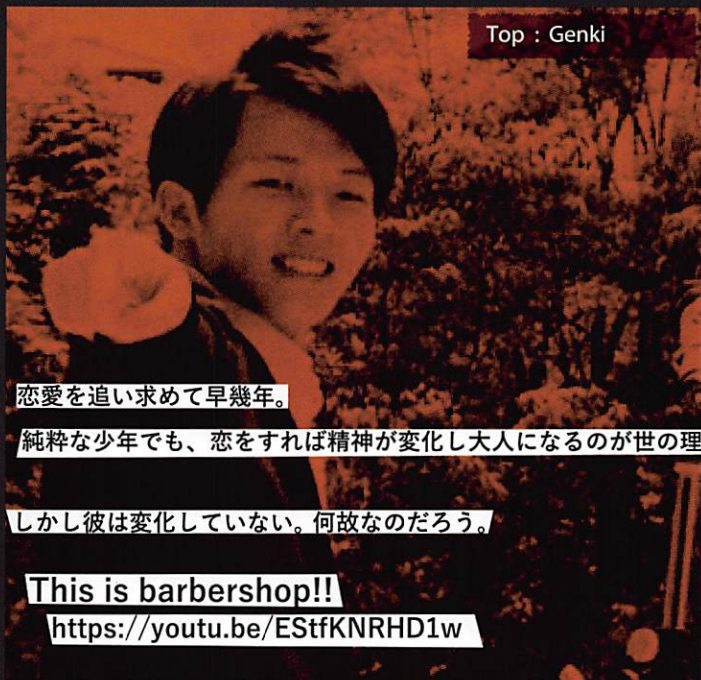
アニメ鑑賞とコラ画像作成に勤しむ。

英語も任せろ！(TOEICは知らない)

Second : Tom



Top : Genki



恋愛を追い求めて早幾年。

純粋な少年でも、恋をすれば精神が変化し大人になるのが世の理。

しかし彼は変化していない。何故なのだろう。

This is barbershop!!

<https://youtu.be/ESTfKNRHD1w>

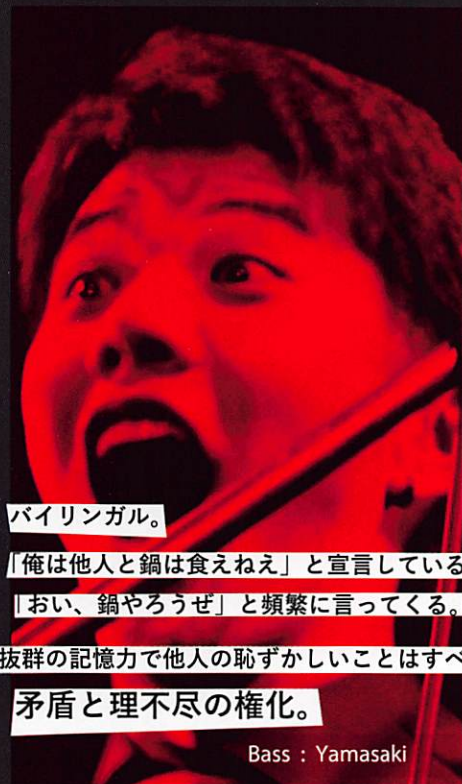
関西学院グリークラブ

俺の流儀

部員100名を超える関西学院グリークラブ。

ここに、関学グリーを象徴する7人の男がいる。

彼らに焦点を当て、その流儀に迫ってみよう。



バイリンガル。

「俺は他人と鍋は食えねえ」と宣言しているのに

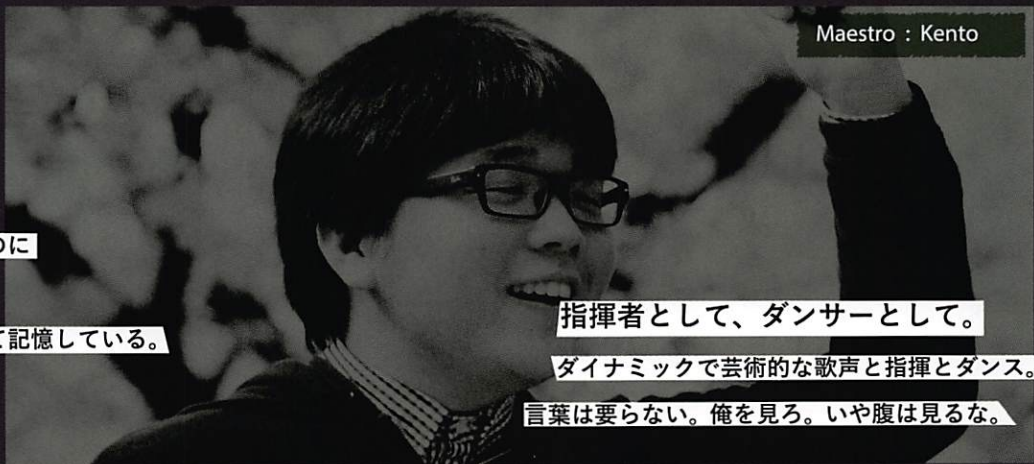
「おい、鍋やろうぜ」と頻繁に言ってくる。

抜群の記憶力で他人の恥ずかしいことはすべて記憶している。

矛盾と理不尽の権化。

Bass : Yamasaki

Maestro : Kento



指揮者として、ダンサーとして。

ダイナミックで芸術的な歌声と指揮とダンス。

言葉は要らない。俺を見ろ。いや腹は見るな。

2016

演奏会情報

8

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

(同志社グリークラブ)
25日(木)サマージョイントコンサート
於 同志社大学 寒梅館ハーディーホール

9|10

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

(関西学院グリークラブ)
2日(日) 第47回グリークラブフェスティバル
於 関西学院中央講堂

11

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

(慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団)
4日(金) 慶應義塾ワグネル・ソサイエティー創立115周年記念演奏会
於 ミューザ川崎 シンフォニーホール

2017

12

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

- (同志社グリーククラブ)
 3日(土) 第112回同志社グリーククラブ定期演奏会
 於 京都コンサートホール
- (早稲田大学グリーククラブ)
 4日(日) 第64回早稲田大学グリーククラブ定期演奏会
 於 府中の森芸術劇場どりーむホール
- (慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団)
 18日(日) 慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団
 第141回定期演奏会
 於 東京芸術劇場 コンサートホール
- (同志社グリーククラブ)
 24日(土) 全同志社メサイア演奏会
 於 京都コンサートホール

1 | 2

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

- (関西学院グリーククラブ)
 12日(日) 第85回関西学院グリーククラブリサイタル
 於 フェスティバルホール
- (早稲田大学グリーククラブ)
 20日(月) 第66回送別演奏会
 於 杉並公会堂 大ホール

編集後記

本日はご多忙の中、第65回東西四大学合唱演奏会にご来場賜り、誠にありがとうございます。

本公演では、合同ステージにおいて Barbershop Style という形式で、A Beatles Celebration を演奏致します。総勢200名を超える私達が動きを交えつつ、Beatles の世界観へと挑戦する姿に、どうぞご注目下さい。

コンサートにおけるパンフレットの役割は、来る公演への期待を膨らます事にあるのではないかと考えます。包装されたお菓子の箱をこれから開けるような高揚感。そんな想起の下、今回の書冊を作成致しました。この演奏会を表現する上で、何らかの貢献が出来ていれば幸いです。

最後になりましたが、本日の演奏会の為に多大なご指導、ご尽力を賜りました先生方、関係者の皆様、そして本日ご来場いただいた皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

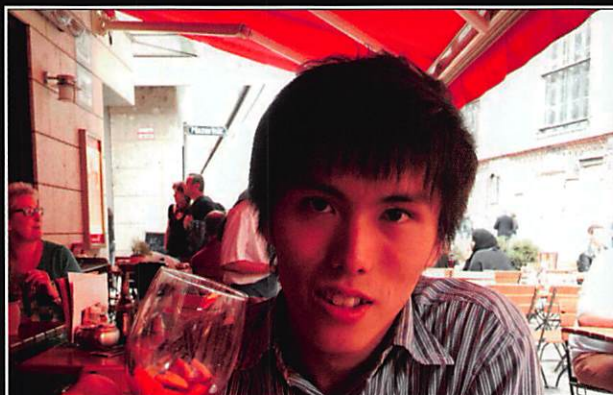
関西学院グリークラブ 第118代編集マネージャー 中川 陽太

四連マネージャー



角刈りのじょん・れのん（関学：澤田 真澄）

本演奏会にご来場頂きまして誠にありがとうございます！
この演奏会が皆さんの笑顔溢れる一時になれるよう
最後まで頑張ります！
皆さんの一人ひとりの笑顔が僕たちの原動力です！
Your smile is our motive power!



天使の翼 ぼーる・まかとに（慶應：桂 久利雄）

四連？いいよねえ。
序盤、中盤、終盤、スキがないと思うよ。
部員たちが躍動する素敵な演奏会を届けたいね。



寝起きりんご・☆（早稲田：小暮 千紘）

伝統ある東西四校の
それぞれの持ち味を活かした演奏を
一度に味わえるのはこの演奏会だけです。
最後までお楽しみください。



闇のじょーじ・はりすん（同志社：平松 聡一郎）

大学の垣根を越えて作り上げた
男声のみの合唱演奏会、それが四連です。
男声合唱の魅力を
肌で感じていただければ幸いです。

第 65 回
東西四大学合唱演奏会

2016 年 6 月 26 日 (日)
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
2016 年 6 月 26 日発行

主催 東西四大学合唱連盟

表紙絵 関西学院大学 絵画部・弦月

